

令和6年12月6日
愛媛大学

四国型次世代科学技術チャレンジプログラム(SHIN-GS) 令和5年度受講生課題研究成果報告会(修了式)を開催

愛媛大学では、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）に採択された「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム（SHIN-GS）」を実施しています。

このたび、SHIN-GS 令和5年度受講生15人が1年間取り組んできた課題研究の成果を報告します。成果報告会後には、令和5年度受講生の修了式も実施します。

また、当日12時から、令和7年度のSHIN-GSの実施計画に関する記者発表も行います。

＊ 四国型次世代科学技術チャレンジプログラム（SHIN-GS）とは

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代人材育成事業「次世代科学技術チャレンジプログラム（高校型）」の一つであり、大学が、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、地域で卓越した意欲・能力を有する高校生等を募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な、理数教育プログラムの開発・実施等を行うことを支援する事業です。

https://www.ngeneration.ehime-u.ac.jp/eGS/?page_id=53

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

【日 時】令和6年12月15日（日）9：30～14：45

〔SHIN-GS 令和7年度実施計画に関する記者発表 12：00～12：30〕

【場 所】愛媛大学城北キャンパス グリーンホール

【参加者】SHIN-GS 令和5年度及び令和6年度受講生、

愛媛大学ジュニアドクター育成塾生、指導教員、高校教員

【主 催】愛媛大学次世代人材育成拠点、SHIN-GS 実行委員会

昨年度課題研究成果報告会（修了式） <https://www.ngeneration.ehime-u.ac.jp/eGS/?p=1610>

※ 報道機関の方で、お車で取材に来られる場合は、正門守衛室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場をご利用ください。来客用駐車場が満車の場合は、近隣駐車場をご利用ください。

■取材いただける場合は、12月11日（水）までに下記問合せ先までご連絡ください。

※送付資料 6枚（本紙を含む）

本件に関する問合せ先

四国型次世代科学技術チャレンジプログラム

山崎、清水

TEL：089-927-9606

Mail：egs@stu.ehime-u.ac.jp

令和 5 年度課題研究成果報告会（修了式）

愛媛大学 城北キャンパス グリーンホール 令和 6 年 12 月 15 日（日）

（司会進行：愛媛大学次世代人材育成拠点 加藤 晶 准教授）

- 9:30～ 開場
- 9:50～10:00 修了式に関する連絡事項
(開会)
- 10:00～10:15 開会の挨拶（愛媛大学次世代人材育成拠点 宇野 英満 拠点長）
(第一部)
- 10:15～10:22 「2024 年能登半島地震の発生メカニズムおよび断層破壊による
海岸域隆起状況調査と地形解析」
愛媛県立松山東高等学校 通信制 2 年 鈴木 さら
(NETRA Prakash Bhandary (社会共創))
- 10:22～10:29 「赤錆を除去できる細菌の発見」
愛媛県立松山南高等学校 3 年 黒光 英太 (西脇 寿 (農))
- 10:29～10:39 「女性ホルモンの変化と運動器官の関係」
愛媛県立松山南高等学校 2 年 大塚 汐音 (今井 祐記 (医・PROS))
- 10:39～10:46 「エキソーム解析で犬のがんの遺伝子変異を明らかにしよう」
愛媛県立松山南高等学校 2 年 橋本 夢実
(佐伯 亘平 (岡山理科大学 獣医)、吉竹 涼平 (岡山理科大学 獣医))
- 10:46～10:53 「カワウソの保全」
愛媛県立松山南高等学校 2 年 向井 優佳 (向 平和 (教育))
- 10:53～11:03 「セルロースナノファイバーにより均質化したダイラタント流体の研究」
愛媛県立松山南高等学校 2 年 二宮 立築 (下村 哲 (工))
- 11:03～11:15 ～休憩～
(第二部)
- 11:15～11:25 「ペルチェ素子を用いた 人工雪生成装置の作成と改造」
愛媛県立松山北高等学校 2 年 河田 拓実 (中本 剛 (教育))
- 11:25～11:35 「敬語 AI」
愛媛県立松山北高等学校 3 年 河内 倫大 (二宮 崇 (工))
- 11:35～11:45 「幼少期に床敷ストレスを与えた仔マウスの行動変化と
子宮内胎児発育不全の与える影響について」
愛媛県立松山西中等教育学校 5 年 山崎 惺菜 (茂木 正樹 (医))

- 11:45～11:52 「湛水条件がサトイモの生育に及ぼす影響 -生産安定化を目指して-」
愛媛県立新居浜西高等学校 3年 鈴木 奏人
(藤内 直道 (農)、岡本 充智 (愛媛県農林水産研究所))
- 11:52～11:59 「さつまいもの効果的な保存方法について」
愛媛県立新居浜西高等学校 3年 岡田 愛子
(荒木 卓哉 (農)、若山 正隆 (医農融合公衆衛生学環))

12:00～12:30 SHIN-GS 令和7年度実施計画に関する記者発表

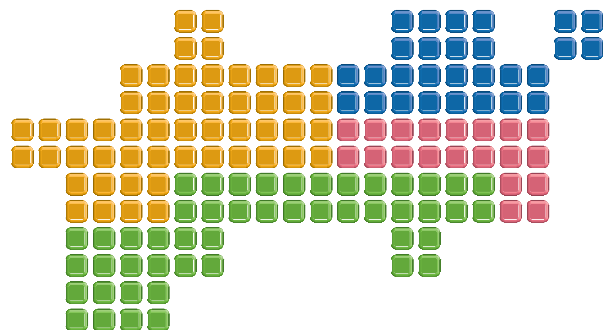
愛媛大学教育・学生支援機構 八尋 秀典 機構長
愛媛大学次世代人材育成拠点 加藤 晶 准教授

- 12:30～13:30 ～休憩～
(第三部)
- 13:30～13:40 「ピロールで π 拡張されたアゾ色素の合成検討」
愛媛県立今治西高等学校 3年 藤本 咲 (高瀬 雅祥 (理))
- 13:40～13:50 「血管内皮細胞の遊走を制御するタンパク質解析」
愛媛県立八幡浜高等学校 2年 三好 祐悟
(東山 繁樹 (医・PROS)、坂上 倫久 (医))
- 13:50～14:00 「地域防災教育における意識変移に関する研究」
愛媛県立宇和島東高等学校 2年 島津 凜 (井上 昌善 (教育))
- 14:00～14:07 「犬のがんの悪性化に伴うゲノム進化に関する研究」
愛媛県立南宇和高等学校 3年 好岡 美優
(佐伯 亘平 (岡山理科大学 獣医)、吉竹 涼平 (岡山理科大学 獣医))
- 14:10～14:30 令和5年度課題研究生 修了書授与式
- 14:30～14:35 令和6年度早期育成型受講生 受講証授与式
- 14:35～14:45 挨拶 (理学部長 高橋 亮治 教授) (SHIN-GS 実施主担当者)
(閉会)

- ※ 1人当たりの発表時間7分 (発表5分、質疑応答2分、準備を含む) を予定。
インディアナ大学で発表を行った受講生8人については海外渡航報告分3分の発表を含む。
- ※ 当日発表順番が変更になる場合があります。

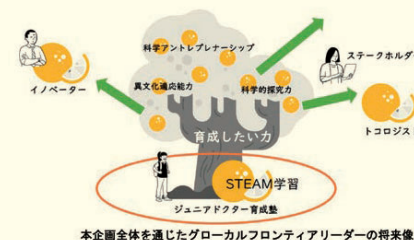
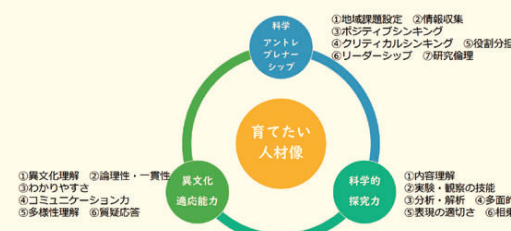
四国型次世代科学技術 チャレンジプログラム 令和5年度活動報告書

本プログラムは科学技術振興機構(JST)「愛媛大学グローバルサイエンス
キャンパス」事業(平成30年度採択機関)の後継事業です。
令和5年度にJST「次世代科学技術チャレンジプログラム(高校型)」に採択されました。



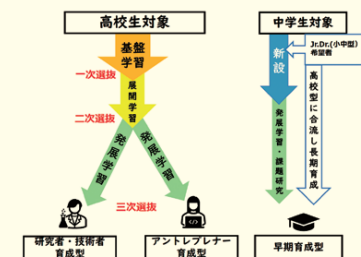
優れた意欲・能力を有する高校生を対象とした
地域や世界で輝く次世代の科学者・技術者・アントレプレナーの育成プログラム

育てたい力



本企画全体を通じたグローバルフロンティアリーダーの将来像

3つの育成型



全学体制での実施



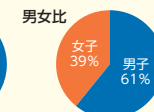
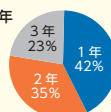
(前列左から) 仁科弘重愛媛大学学長、加藤品助教(本企画コーディネータ)
(後列左から) 宇野英満理事(次世代科学人材育成室室長)、
高橋亮治理部長(本企画実施主担者)

高校生対象 取得した単位は愛媛大学入学後卒業要件単位として認定!

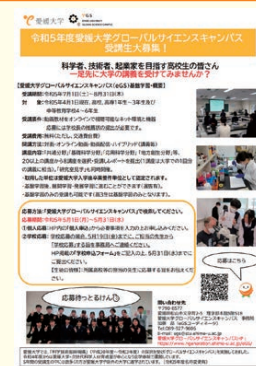
対象: 高校、高等1年生～3年生及び中等教育学校4～6年生
受講要件: 動画教材をオンラインで視聴可能なネット環境と機器 応募には学校長の推薦状の提出が必要
受講費用: 無料(ただし、交通費自費)
開講方法: 対面・オンライン動画・動画配信・ハイブリッド(講義毎)
講座内容: 「共通分野」「基礎科学分野」「応用科学分野」「地方創生分野」等、20以上の講座から
8講座を選択・受講しレポートを提出(1講座は大学での1回分の講義に相当)。
・基礎学習後、展開学習・発展学習に進むことができます(選抜有・選抜後の旅費、研究費は全額支給)。
・基礎学習のみの受講も可能(高3生は基礎学習のみ)。
応募方法: 「四国型次世代科学技術チャレンジプログラム(旧愛媛大学グローバルサイエンスキャンパス)」ホームページ
①個人応募 ②学校応募の2パターン

令和5年度受講生の参加実績

受講生: 計244名
高校数: 計29校



都道府県	人数
愛媛県	237
香川県	2
徳島県	1
高知県	1
岡山県	2
千葉県	1
計	244

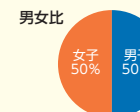
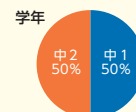


中学生対象 ジュニアドクター育成塾第二段階受講生を対象

対象: ※ジュニアドクター育成塾第二段階受講生のうち中学1～3年生
※今年度については「愛媛大学ジュニアドクター育成塾生」のみ
受講要件: 動画教材をオンラインで視聴可能なネット環境と機器
受講費用: 無料(ただし、交通費自費)
開講方法: 対面・オンライン動画・動画配信・ハイブリッド(講義毎)
講座内容・応募方法: 「四国型次世代科学技術チャレンジプログラムホームページ」Forms

令和5年度受講生の参加実績

受講生: 計8名



※令和6年度は他のジュニアドクター育成塾実施機関にも受講対象を拡大します。

スケジュールと学習内容

2022年
5月

受講生の応募（～5月末）：四国4県を中心に全国の高等学校に周知

6月

愛媛大学科目履修生として受入れ・登録

7月

「基盤学習」（7月～8月）：選抜なし 244名（高1～高3生） ＊高大接続科目 1単位

8月

- ・科学の視野を広げる
- ・地域の特徴ある研究を知る
- ・地域の問題・地域産業への関心を深める

理 工 農 医 薬 教 獣 医 社会創 創 データサイエンス 研究倫理

学部横断的に学ぶ

9月

一次選抜対策講座

共通分野

基礎科学分野

応用科学分野

地方創生分野

20講座以上から8講座を選択

研究室見学

10月

「展開学習」（10月～11月）：一次選抜 31名（高1～高2生） ＊高大接続科目 1単位

- ・課題研究につながる学習
- ・幅広い知識を基盤とした高い専門性を培う

研究室マッチング（四国全域）

テクニカル

3つのスキル獲得を意図した実践的な実習講義

課題研究説明会

研究室紹介

受講生個人面談

国際性育成

四国アントレ塾Ⅰ

・体験型ワークショップ

・実践的な問題解決のプロセスを学ぶ

・「愛媛で学ぶ」

・「徳島で学ぶ」

・「高知で学ぶ」

・「香川で学ぶ」

11月

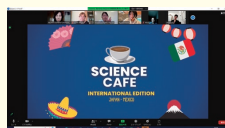
12月

「発展学習（課題研究）」（12月～翌12月）：二次選抜 16名

2023年
1月

愛媛大学や連携機関での課題研究実施

- ・受講生提案型
- ・研究室提案型
- ・高校提案型



Science Café

月1～2回の科学英語オンラインクラス

四国アントレ塾Ⅱ

・ベンチャーマインドの育成

・探究活動を支えるメンタリング

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2024年
1月

2月

3月

大学学部・大学院レベルの研究活動

- ・ウィークリーレポートの提出
- ・コーディネータの個人面談（随時）
- ・学会参加のフォロー



海外での研究活動

令和5年度課題研究生のうち海外渡航選抜者は、2024年8月に米国インディアナ大学で研究活動を実施予定

プログラム修了



「発展学習（課題研究）」：三次選抜 4名

※第3段階受講生は最大で2年半の育成期間が与えられる

基盤学習

基盤学習では応募した高校生が全員受講できます。学部横断的に学び、科学の視野を広げ、地域の特徴ある研究を知ることとを目的としています。取得した単位は愛媛大学入学後卒業要件単位として認定（1単位）

分野	所属	講座タイトル	担当者
共通分野 (2講義)	SHIN-GS	グローバルフロンティアリーダー入門Ⅰ	加藤 晶
	教育学部	グローバルフロンティアリーダー入門Ⅱ これから求められる教員・能力とは	向 平和

分野	所属	講座タイトル	担当者
基礎科学分野 (9講義)	農学部	グム編集技術による組織の新規開発に向けて	賀屋 秀隆
	農学部	自分を食ってどういうこと？ ～オートファジーの謎～	関藤 孝之
	教育学部	教材としてのメダカとカエル	中村 依子
	理学部	等閑不等式 ～急率の形を調べよう～	中島 啓貴
	理学部	地球を巡る鉱物の旅路	延寿 里美
	理学部	植物の環境への適応 -木化の役割-	佐藤 康
	理学部	七ヶ瀬講演会	
	岡山大学	微生物の持つタンパク質が 脳の機能発現に果たす役割	田中 浩 彦 (岡山大学)
	岡山理科大学	感じる血管、考える血管、動く血管	竹谷 浩介 (岡山理科大学)

講義領域	講義数	理学部	工学部	農学部	教育学部	医学部	薬学部
共通分野（必須科目）	2	4	4	4	4	4	4
基礎科学分野（選択科目）	10	10	10	10	10	10	10
応用科学分野（選択科目）	10	10	10	10	10	10	10
地方創生分野（選択科目）	6	6	6	6	6	6	6
合計	28	24	24	24	24	24	24

各学部・各分野を網羅した
充実した学習プログラム

展開学習（講義・実験・討論）

展開学習では3つのスキル（プロポーザル・テクニカル・ディベート）を身につけることを目的として、実習を含むより実践的な講義を開講しています。展開学習は「課題研究につながる」学習を意識しており、「研究申請書」の作成や「課題研究計画発表会」に取り組みます。取得した単位は愛媛大学入学後卒業要件単位として認定（1単位）

No.	日時	講義内容	担当者・講師
1	10月8日（日）	開講式 ガイダンス 2022年度課題研究発表会と先輩のメッセージ	SHIN-GS実行委員会 加藤 晶（理）
2	10月15日（日）	①生命活動とタンパク質	島崎 洋次（理）
3	10月22日（日）	②光とエネルギーと環境	下村 哲（工）
4	10月29日（日）	GSC全年度課題研究発表会（オンライン視聴）	
5	11月3日（金・祝）	③Parasitology	リチャード・カレント（医）
6	11月5日（日）	④熱と未来のエネルギー	中原 貴也（工）
7	11月12日（日）	⑤プログラミングとAI	二宮 崇（工）
8	11月19日（日）	⑥グム編集	賀屋 秀隆（農）
9	12月3日（日）	課題研究計画発表会	SHIN-GS実行委員会
10	12月中旬	二次選抜者決定	



発展学習（課題研究・学会発表・海外活動）

発展学習では第二段階受講生が愛媛大学や連携機関の大学の研究室に配属され、課題研究などの研究活動や起業活動に12月～翌12月の1年間取り組みます。発展学習期間には国内外学会発表やビジネスコンテストでの発表を行います。プログラムをすべて修了したものは「修了証」を授与しています。

学校名	学年	研究タイトル	担当教員
1 愛媛大学附属高等学校	1年	道後温泉から産出したアンモナイトプロトコルの同定	岡本 隆（理）
2 愛媛県立松山東高等学校	1年	色素を生産する微生物のスクリーニングと生産された色素の分析	西脇 寿（農）
3 愛媛県立松山東高等学校	1年	グム編集技術を用いた女性用アイスクリームバナナの品種改良に向けて	賀屋 秀隆（農）
4 愛媛県立松山南高等学校	1年	細胞はなぜ液状に塩基性アミノ酸の量を蓄積するのか	関藤 孝之（農）
5 愛媛県立松山南高等学校	1年	カーボンニュートラルな燃料を廃棄物から	高橋 秀治（理）
6 愛媛県立松山南高等学校	1年	リボソームを用いた新しいリサイクル方法の検討	森 重樹（ADRES）
7 愛媛県立松山南高等学校	1年	ウェアラブルセンサとデータモニタリングを用いた腰部姿勢認識と応用	李 在勲（工）
8 愛媛県立松山北高等学校	2年	ゼニゴケの葉状体再生について	加藤 大貴（理）
9 愛媛県立新居浜高等学校	2年	道後温泉の化石種 地元愛媛（松山）で発見できる化石？	鈴木 武久（理） 山根 穂枝（科博）
10 愛媛県立宇和島高等学校	1年	樹洞におけるアユの移動を環境DNA解析で追跡する	清水 倫子 (香川県立環境センター) 竹内 久登 (南予水産研究センター)
11 愛媛県立宇和島高等学校	1年	加齢に伴ったカフェインの血中濃度の変化	茂木 正樹（医）
12 愛媛県立宇和島高等学校	2年	河内晩柑の脳機能改善効果	山本 聡（松山大学 薬） 天倉 吉章（松山大学 薬）



学校名	学年	研究タイトル	担当教員
1 愛媛県立松山南高等学校 通称制	1年	科学と地盤の関係について	NETRA Prakash Bhandary (社会共創)
2 愛媛県立松山南高等学校	2年	赤錆を除去できる細菌と発見	西脇 寿（農）
3 愛媛県立松山南高等学校	1年	女性ホルモンの変化と運動器の関係	今井 結紀（医・PROS）
4 愛媛県立松山南高等学校	1年	エコーソニックで犬のがんの遺伝子変異を明らかにしよう	佐伯 昌平 (岡山理科大学 獣医) 吉竹 淳平 (岡山理科大学 獣医)
5 愛媛県立松山南高等学校	1年	カワフウの個体数の保全	向 平樹（農）
6 愛媛県立松山南高等学校	1年	ダイラクトン抗体とセロリン・フナノ繊維の複合素材の開発と人畜共生できる新しいロボットの作成	下村 哲（工） 李 在勲（工）
7 愛媛県立松山北高等学校	1年	ペルチネ素を用いた 人工嚥下装置の作成と改造	中本 剛（農）
8 愛媛県立松山北高等学校	2年	聴覚器を使う会話AI（敬語AI）	二宮 崇（工）
9 愛媛県立松山西中等教育学校	4年	低栄養で飼育されたマウスから生まれたマウスを用いた、床敷によるストレスからくる不安行動と神経発達異常について	佐藤 正樹（医）
10 愛媛県立新居浜高等学校	2年	潜水条件がサケイの生育に及ぼす影響 -生産安定化を目指して-	堀内 晋吾（農） 尾花 光雄 (愛媛県農業水産研究所)
11 愛媛県立新居浜高等学校	2年	食品の効果的な保存方法について	荒木 卓哉（農） 岩山 正樹 (医療総合公衆衛生学)
12 愛媛県立今治高等学校	2年	フィコシアニンを用いたインクの開発	高橋 秀治（理）
13 愛媛県立八幡浜高等学校	1年	正常な血管を構築する分子とその破壊から導かれる疾患	東山 繁樹（医・PROS） 佐上 俊久（医）
14 愛媛県立三崎高等学校	1年	金属製品から溶出する金属イオンの挙動	高橋 秀治（理）
15 愛媛県立宇和島高等学校	1年	野村町の地盤と地盤	井上 昌隆（農）
16 愛媛県立宇和島高等学校	2年	犬のがんの悪性化に付随するグム編集に関する研究	佐伯 昌平 (岡山理科大学 獣医) 吉竹 淳平 (岡山理科大学 獣医)

200名以上

40名程度

15名程度

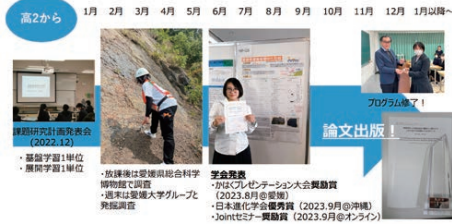
受講生は「愛媛大学Moodle」からレポートを提出、オンデマンド教材で繰り返し学習できます
2023-前 人間科学入門 加藤 晶

受講生の活動内容

重川富佑子さん（愛媛県立松山東高等学校）の場合



黒田奈那さん（愛媛県立新居浜西高等学校）の場合



受講生の研究成果（論文出版・受賞など）

論文出版

論文題目:「愛媛県松山市道後姫塚の露頭から産出する上部白亜系和泉層群の化石相リスト」
List of fossil fauna and flora from the Upper Cretaceous Izumi Group at the outcrop of Dogo-Himeduka, Matsuyama, Ehime, western Japan

著者:黒田奈那・舘本武久

- 1 愛媛県立 新居浜西高等学校
- 2 愛媛大学 大学院理工学研究科 理工学専攻 地球科学分野

愛媛大学理学部紀要 第25巻 28-34 ページ, 2023年

★第9回中高生のためのかはく科学研究プレゼンテーション大会（令和5年8月6日（日））

【奨励賞】

- 「色素を生産する微生物のスクリーニングと生産された色素の分析」
- 二神里名（愛媛県立松山東高等学校・2年）指導教員:西脇寿教授（農学部）

【道後姫塚の化石相】

黒田奈那（愛媛県立新居浜西高等学校・3年）

指導教員:舘本武久教授（理学部）、山根勝枝学芸員（愛媛県総合科学博物館）

★日本進化学会（第25回沖縄大会）（令和5年9月2日（土））

【優秀賞、敢闘賞】

「愛媛県道後姫塚から発見される化石」

黒田奈那（愛媛県立新居浜西高等学校・3年）

指導教員:舘本武久教授（理学部）、山根勝枝学芸員（愛媛県総合科学博物館）

【敢闘賞】

「ゲノム編集を用いて台風に負けないアイスクリームバナナをつくる」

重川富佑子（愛媛県立松山東高等学校・2年）指導教員:賀屋秀隆准教授（農学部）

「ゼニゴケの葉状体再生について」

加藤美佳（愛媛県立松山北高等学校・3年）指導教員:加藤大貴助教（理学部）

★GSJointセミナー2023（令和5年9月18日（月・祝））

【奨励賞】

「道後姫塚の化石相～松山市で発見できる化石!?～」

黒田奈那（愛媛県立新居浜西高等学校・3年）

指導教員:舘本武久教授（理学部）、山根勝枝学芸員（愛媛県総合科学博物館）

★International Science Seminar for High School Students 2023（令和5年9月18日（月・祝））

【奨励賞】

「Improvement effect of Kawachibankan (*Citrus kawachiensis*) on neuronal dysfunction」

三好千華子（愛媛県立南宇和高等学校・3年）指導教員:天倉吉卓教授、奥山聡准教授（松山大学・薬学部）

★JST全国受講生研究発表会（令和5年10月28日（土））

「河内晩柑の脳機能改善効果（Improvement effect of Kawachibankan (*Citrus kawachiensis*) on neuronal dysfunction）」

三好千華子（愛媛県立南宇和高等学校・3年）指導教員:天倉吉卓教授、奥山聡准教授（松山大学・薬学部）

「ウェアラブルセンサとディープラーニングを用いた腰部姿勢認識と応用（Body posture recognition using wearable sensors and deep learning and its application）」

塚本真亜奈（愛媛県立松山南高等学校・2年）指導教員:李在勲教授（工学部）

★2023年度高校生作文コンクール（秀明大学教育研究所主催）（令和5年11月12日（日））

【佳作】

「ふるさとと教育と私一生まれ育った地域の教育から私が学んだこと」

二宮立葉（愛媛県立松山南高等学校・1年）指導教員:下村哲教授（工学部）

★第108回日本生物教育学会（神奈川大会）（令和6年1月7日（日））

【優良賞3名】

「ゲノム編集技術を用いた半透性アイスクリームバナナの品種改良に向けて」

重川富佑子（愛媛県立松山東高等学校・2年）指導教員:賀屋秀隆准教授（農学部）

「酵母が液胞内に塩基性アミノ酸を蓄積する理由を探る」

亀岡真由（愛媛県立松山南高等学校・2年）指導教員:関藤孝之教授（農学部）

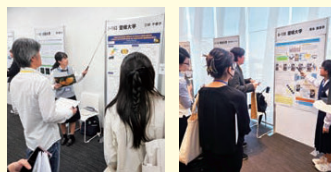
「色素を生産する微生物のスクリーニングと生産された色素の分析」

二神里名（愛媛県立松山東高等学校・2年）指導教員:西脇寿教授（農学部）

※本冊子は令和6年2月初旬時点の情報をもとに作成しています。今後以下の研究発表会に参加予定です。

○日本農芸化学学会主催「ジュニア農芸化学会2024」参加受講生:1名

課題研究期間中の論文出版



早期育成型の取り組み

愛媛大学では、「全世代型」を対象とした人材育成を目的としています。高校生に限定するのではなく、対象の学年以下の児童生徒から傑出した人材を生み出せるようなプログラムを導入しました。早期育成型では高校生対象に開講している「展開学習」を同時に受講する「飛び級制度」により、高校生と一緒に大学の講義を先取りすることができます。早期育成型については愛媛大学のMoodleゲストアカウントを発行し、高校生の受講生と同じようにオンデマンド教材を繰り返し学んだり、レポートが提出できるようにしました。今年度は講義だけでなく「課題研究計画発表会」や「修了式」にも参加し知見を広げました。



科学アントレプレナー教育

地域が必要とするアントレプレナーは維持管理力・変更管理力・方針管理力の3つのマネジメント能力を備えたリーダーで、さらにはDXやグローバル競争におけるものづくりも求められます。そのために必要とされる力を身に付けるために「四国アントレ塾Ⅰ」「四国アントレ塾Ⅱ」を開講し、地域から世界を变えるグローバルフロンティアリーダーの育成に特化したカリキュラムとなっています。

講座内容	
第1回 オープン/バージョンとは	(90分)
第2回 事例から学ぶベンチャー企業	(90分)
Day1 チームビルディング1	10:00-12:00 (90分)
Day1 チームビルディング2	13:00-16:30 (210分)
Day1 ビジネスアイデア発表WS	16:30-18:00 (90分)
Day2 ビジネスモデル作成WS①	9:00-12:00 (180分)
Day2 ビジネスアイデア発表WS	13:00-15:00 (120分)



「四国アントレ塾Ⅰ」の様子



「四国アントレ塾Ⅱ」は令和6年3月24日開催

受講生の主な進学先

多くの受講生が理系学部に進学しています。

愛媛大学、東京大学、京都大学、北海道大学、
東京農工大学、名古屋大学、九州大学、筑波大学、
信州大学、東京海洋大学、岐阜大学、岡山大学、
広島大学、鳥取大学、徳島大学、慶應義塾大学、
早稲田大学、松山大学など

※2023年3月末調査時点



実施担当:高橋亮理学部長 コーディネーター:加藤昌助教



令和5年度実施体制

科学者、技術者、起業家を目指す高校生の皆さん一足先に大学の講義を受けてみませんか？



問い合わせ SHIN-GS事務局（愛媛大学理学部内）
Tel:089-927-9606 E-mail:egs@stu.ehime-u.ac.jp

連携機関 愛媛県教育委員会・愛媛県総合教育センター・香川県教育委員会・徳島県教育委員会・
高知県教育委員会・松山大学・岡山理科大学獣医学部・愛媛県産業技術研究所

